

WEEKLY REPORT

とつながっていきます。会員増強は北クラブが取り組むべき重要な課題です。

他にも北クラブは次年度も色々なことに取り組んでまいります。
ポリオ根絶への取り組みへ積極参加、米山奨学生の受け入れ
継続事業として行う 市内小学校特別支援学級への梨狩り体験サポート
地域イルミネーションイベントへの支援など、
軽視できるものは一つもなく50年以上も続くクラブの会長を務めることは
重責であり不安もありますがやり遂げる気持ちとそのための行動は他者に伝わることを
幹事時代に当時の会長と共にする際に強く感じました。
熱意を持ってクラブ運営に努めることを宣言して私の挨拶を結ばさせていただきます。
ありがとうございました。



鈴木悦朗ガバナー補佐 表彰



《会報編集委員》平野崇広・尾崎直人・廣瀬淳一・佐久間音弥・佐藤友紀・本間沙也加

Rotary 2024-2025年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2474回例会出席率 78.1%

第2474回 例会 2025年 3月 5日(水)

第2475回 例会 2025年 3月 13日(木)

- 国際ロータリー会長 ステファニーアーチック
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 寒郡 茂樹
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 第13Gガバナー補佐 尾崎 裕一
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- 松戸北ロータリークラブ会長 柳 孝実
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 関 征啓
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第2474回 例会プログラム 例会会場:ウインズ南柏>

司会 南貴子会員

17:00 点鐘	柳孝実会長
国歌及びロータリーソング斉唱【♪君が代♪我等の生業】	
17:03 お客様紹介	野澤新之助会長エレクト
17:05 会長挨拶・理事会報告 幹事報告	柳孝実会長 関征啓幹事
17:20 委員会報告	
出席親睦委員会 本日の出席率発表	大塚精一会員
社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表	
ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	中原光男会員
17:25 点鐘	柳孝実会長
17:30 ファイヤーサイドミーティング	

<会長挨拶>

柳孝実会長



皆さん、こんばんは。

今日は今年度2回目のウインズ南柏での移動例会となります。会場をご提供いただいた浅野会員に感謝申し上げます。

今日は2月23日から24日にかけて行われたRYLAセミナーの報告で関会員のご子息、悠大(ユウタ)さんにお越し頂いております。RYLAに参加していただいた感想を後ほどご報告いただきますので、皆様楽しみにしていただければと思います。悠大さん宜しくお願い致します。

例会を30分間行った後、17時30分から19時30分までファイヤーサイドミーティングを開催します。普段なかなかお酒を酌み交わす機会のない若手会員とベテラン会員の親睦を深める場となればという思いで開催させていただきましたので、積極的に交流していただき親睦を深めていただければ幸いです。

今日のファイヤーサイドミーティングは盛沢山のメニューとなっております。先ず本日の理事会に諮らせていただいた次年度の地区補助金事業についてご報告させていただきます。

WEEKLY REPORT

2. 小金わくわく探検隊においては児童の見守り支援とロータリーのロゴ入りの集合写真を寄贈しております。
3. 知的障害者陸上クラブのダイバーシティA.C.千葉に対してユニフォームなどの物的支援のほか、大会の応援などを通じて関係を深めており、今後新たな模索しております。
4. 黄金クリスマスイルミネーションにおいては数年前より会員によるイルミネーションの設営支援を行っており、今後も当クラブとしてのかかわり方を模索しながら継続していく方針です。

また新たな活動として米山奨学生の世話クラブとなることといたしました。カウンセラーを引き受けていただいた平田会員を中心に、クラブ全体で奨学生に関りを持っていこうと話しております。奨学生に北クラブで良かったと思っていただけるように責任をもってサポートしていきたいと思っております。

少しずつではありますが、新しいことにもチャレンジしつつ、先輩方の築かれた伝統を守りながら、新たな北クラブの歴史を作っていければと考えております。

<会長エレクト挨拶>

野澤新之助会長エレクト



松戸北ロータリークラブ会長エレクト野澤新之助と申します。職業分類は不動産管理で2016年10月に入会しました。

昨年の秋にRLIの研修に参加しました。

研修ではディスカッションもあり自身の職業観を聞かれたり、四つのテスト、ロータリーの目的を確認したり、ロータリー財団、奉仕プロジェクト、リーダーシップについて、などをテーマで学習しました。

ある講師の方が研修の中で、ロータリーの目的は世界平和です。とおっしゃってました。

これまでの私は世界平和を念頭においてのロータリー活動ではなかったと感じ、感銘を受けました。

後日活動計画書を読むと、当クラブの定款には「ロータリーの目的」の達成を目指すことと記されておりました。

つまり、私たちは平和を推進する活動を行わなければいけないのです。不勉強であることを反省しました。改めていきます。

そんな経験から次年度にはできるだけ多くの入会年数の浅い会員にRLIへの参加を促し、他クラブの会員と交流しクラブ外からロータリーについてをインプットする事で、今までにない気づきを感じて欲しいと思っております。そして先輩会員には変化を見守って欲しいと思っております。

ロータリーを理解し関心が増えれば自ずと退会抑制につながり、それは会員増強へと

第2475回例会 インターシティ・ミーティング
Dream Within Dream 夢の続き

合同例会 点鐘 15:00

第1部 インターシティ・ミーティング
Dream Within Dream 夢の続き…5クラブの夢

松戸市民劇場 15:35～16:45



第2部 懇親会

松戸商工会館5階 17:15～19:30

<会長挨拶>

柳孝実会長



松戸北ロータリークラブは昭和48年4月2日に創立されました。同日、協和銀行北小金支店において会員28名で創立総会(第一回例会)が開催されました。その後、同年10月10日国際ロータリー加盟認証状伝達式が会員31名で松戸市民会館にて開催されました。

現在もチャーターメンバーとして浅野久会員が在籍されております。

とはいえクラブの創設期を知る先輩方が少なくなっていることから、当クラブでは数年前より会の礎を築いてこられた先輩方の教えを継承すべく、温故知新をテーマとして活動して参りました。主に先輩方の想いを卓話を通じてお話していただきました。

現在では新しい会員が増えたことから世代交代が進んでおり、クラブの転換期を迎えている状況です。その中でクラブの歴史や伝統を大切にしながら、新しいことにもチャレンジしていければと考えております。

現在、主に4つの奉仕活動を行っています。

1. 長年継続してきたなかよし学級の児童を招いてのさつま芋掘りを梨狩りに変更し、現在2つの小学校のなかよし学級の児童を招待し行っております。

そのあと今後、地区補助金を使って取り組みたい事業案を皆様にアンケートでご記入いただきたいと思っております。地区補助金事業は、予算の半額は地区補助金が支出されるとはいえ、クラブにとっては大きな支出となる事業です。一部の会員で進めるのではなく、皆様の意見を伺い、クラブの総意として事業を決定し、全員が参加する形で行うべき活動と捉えております。まずはその第一歩となる皆様からの貴重な事業案のアイデアをお寄せください。

次にTSUNAGU2790で支援金を支出させていただいた鴨川ロータリークラブの事業活動報告の動画を20分ほど視聴いただきます。我々の支出した資金がどのように活かされたのか皆様と共有したいと思います。

最後に2月22日にご逝去された小林弘会員を偲んで、会員からお話を頂戴したいと思います。

本日のファイヤーサイドミーティングが我々にとって有意義な場となりますよう祈念いたしまして、会長挨拶とさせていただきます。

<地区補助金申請経過報告>

野澤新之助会長エレクト



プロジェクト名 イルミネーション支援事業
実施場所 JR北小金駅南口ロータリーおよびペDESTリアンデッキ
期間 2025.11.15から2026.02.14(予定)

プロジェクト概要

国際ロータリーの理事会が要請する、3年間の目標と計画の立案(3 year Rolling Target/Plan)を実行するために地域で行われるイルミネーションイベントのサポートを実施。地域とかがかわる中で事業の象徴となるシンボルツリーの設置

が困難であると相談を受ける。ツリーが無くなればイルミネーションイベントの中止も余儀なくされるため、クラブとしてツリー設置の支援を決意する。点灯式では地元小中学校の吹奏楽部によるミニコンサートもあり子供たちの演奏の機会を維持するためにも地区補助金を使いプロジェクトを実現し地域の人々に喜んでもらいたいと考えます。

恩恵を受ける受益者 一般市民

参加するロータリアンの数 30名

財政的支援以外にロータリアンが行うこと
イルミネーション設置作業協力・撤去作業協力 点灯式会場設営作業協力

WEEKLY REPORT

プロジェクトの地域社会への影響

日ごとに日没が早まっていく冬をイルミネーションで照らすことにより周囲を明るくさせることを継続存続させることができるようになり、それは再開発予定地となっている北小金の未来の住人たちへ対しても贈り物となり地域への関心や郷土愛を育むことの一翼を担えると考えます。

関与している団体と役割

小金小学校 小金南中学校 イルミネーションオブジェ作成 点灯式演奏

小金の街をよくする会イルミネーション設置

プロジェクト予算（概算）

地区補助金 330,000円

クラブ拠出金 330,000円



関征啓幹事ご子息
によるピアノ演奏
ライラ報告がありました



WEEKLY REPORT

